

後援会だより

第6号 2008. 10. 10

編集発行／鹿児島大学法文学部後援会

○ごあいさつ（後援会会長、法文学部長）	1	○学部長と新入生との懇談会	3
○平成19年度決算・20年度予算	2	○法文学部1号館改修に着手	3
○平成20年度後援会総会	3	○保護者向けアンケートの集計結果	4

○ごあいさつ

鹿児島大学法文学部後援会
会長 大川 満雄

いつになく雷鳴とどろいた暑い季節も去り、風水にも涼気を感じる候となりました。会員の皆様にはお元気で過ごしのことと思います。

先の総会では会場狭しと多くの会員が出席され熱心に審議をして頂きました。おかげで特別事業の『法文学部1号館改修』を含む全議案が採択されました。また、総会後の懇談でも教職員と保護者がにぎやかに談笑することができ、大いに盛り上がったところです。総会の準備に奔走された事務局の方々にはお礼申し上げます。

さて、大学も後期授業に入りました。11月には大学祭が予定されていますし、就職活動やその準備に余念のない学生、卒業を目前に単位修得や卒業論文に汗する学生もいることでしょう。保護者の方々も暖かく見守り、また励ましてやって下さい。

とりわけ就職活動の成否は最大の関心事です。国の調査によると、今春の大学卒業者の就職率は4月1日時点で96パーセントと、過去最高を記録しました。また民間企業の調査による来春卒業予定者の求人数は95万人であり、こちらも過去最高を更新しています。いわゆる団塊世代の大量退職もあつてのことですが、原油価格の高騰や景気の動向は不透明感が強く、企業収益の悪化が懸念されます。なかでも中小企業の採用は依然として厳しく、鹿児島大学の地元への就職率は4割を切っているのが実情です。

後援会として学生の就職環境に格段の配慮を必要とします。学生諸君も学内の就職支援センターの活用を始め、万全の対策が求められます。後援会活動に一層のご理解とご支援を願うものです。

鹿児島大学法文学部後援会顧問
法文学部長 木部 暢子

法文学部後援会は、学生・教職員の教育研究や福利厚生などの支援を目的として、平成15年に設立されました。そのおかげで、学部大学院では、この5年間にじつにさまざまな教育を行うことができました。例えば、学外実習を重視した教育、地域



木部暢子 法文学部長

マスコミ13社と連携したマスコミ論の授業、学生のキャリア教育、市民に向けた公開討論会、国際シンポジウムなどです。まず、このことに感謝申し上げます。これらの支援事業にも増して最近重要になってきたのが、大学の情報を保護者へお伝えする場としての後援会の役割です。後援会では7月に後援会総会を、入学式の日午後「保護者と教員の歓談会」を開催し、保護者と教員が直接、意見交換する場を設けてまいりましたが、そこでも「大学の情報を提供して欲しい」というご意見が多く寄せられました。そこで、これまで年1回の発行だった『後援会だより』を今年度から年2回の発行とし、情報誌的な役割を持たせることとなった次第です。

ところで、今年度の情報といえば、何と言っても1号館の改修工事です。今年度に東側半分を、来年度に残りの西側半分の工事を行う予定です。2年間は学生にも不自由をかけることとなりますが、完成後は学習環境、生活環境が大幅に改善される予定です。なお、この工事に関連して、後援会からもご援助いただくことが先日の総会で了承されました。この場をお借りして御礼申し上げます。

○平成19年度後援会決算

1. 収入の部 (単位:円) 平成19年4月1日～平成20年3月31日

項目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	適用
正会員会費	2,700,000	7,765,000	5,065,000	保護者会員
特別会員会費	640,000	648,000	8,000	教職員会員
賛助会員会費	0	0	0	
前年度繰越額	16,830,931	16,830,931	0	
雑収入	140,000	195,994	55,994	懇談会個人負担分、預金利息等
合計	20,310,931	25,439,925	5,128,994	

2. 支出の部

(一般会計)

項目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	適用
事業費	8,400,000	5,567,712	△ 2,832,288	就職ガイダンス、学生野外実習支援等
会議費	500,000	275,000	△ 225,000	理事会、総会経費
事務運営費	1,600,000	1,243,179	△ 356,821	後援会だより印刷・送料、後援会事務員雇用経費等
予備費	175,884	0	△ 175,884	
次年度繰越額	0	8,718,987	8,718,987	
小計	2,275,884	10,237,166	7,961,282	

(特別会計)

項目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	適用
学生事故対策費	2,500,000	0	△ 2,500,000	
概算要求対策費	1,500,000	0	△ 1,500,000	
設備整備充実費	2,500,000	0	△ 2,500,000	
国際交流費	561,770	327,200	△ 234,570	臨床心理国際シンポジウム開催
学生支援費	1,726,480	0	△ 1,726,480	
その他	846,797	20,973	△ 825,824	学部長教育研究活動経費
次年度繰越額	0	9,286,874	9,286,874	
小計	9,635,047	9,635,047	0	

項目	予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	適用
合計	11,910,931	19,872,213	7,961,282	

○平成20年度後援会予算

1. 収入の部 (単位:円) 平成20年4月1日～平成21年3月31日

項目	19年度予算額(A)	20年度予算額(B)	増減額(B-A)	適用
正会員会費	2,700,000	2,695,000	△ 5,000	保護者会員
特別会員会費	640,000	640,000	0	教職員会員
賛助会員会費	0	0	0	
前年度繰越額	16,830,931	18,005,861	1,174,930	
雑収入	140,000	140,000	0	
合計	20,310,931	21,480,861	1,169,930	

2. 支出の部

(一般会計)

項目	19年度予算額(A)	20年度予算額(B)	増減額(B-A)	適用
事業費	8,400,000	8,200,000	△ 200,000	模擬面接指導経費、オープンキャンパス支援等
会議費	500,000	400,000	△ 100,000	理事会、総会実施経費
事務運営費	1,600,000	1,300,000	△ 300,000	後援会だより印刷・送料、後援会事務員雇用経費等
予備費	175,884	193,987	18,103	
小計	10,675,884	10,093,987	△ 581,897	

(特別会計)

項目	19年度予算額	20年度予算額(B)	増減額(B-A)	適用
学生事故対策費	2,500,000	2,800,000	300,000	学生事故発生時への緊急対応経費
概算要求対策費	1,500,000	1,500,000	0	学部・研究科の基盤整備等
設備整備充実費	2,500,000	4,000,000	1,500,000	法文学部1号館改修経費、その他環境整備等
国際交流費	561,770	534,570	300,000	国際学術交流経費
学生支援費	1,726,480	1,726,480	0	学生交流支援経費
その他	846,797	825,824	0	学部長教育研究活動経費等
小計	9,635,047	11,386,874	2,100,000	

項目	19年度予算額(A)	20年度予算額(B)	増減額(B-A)	適用
合計	20,310,931	21,480,861	1,169,930	

○平成20年度後援会総会

去る7月19日(土)16時より、平成20年度後援会総会が開催されました。猛暑のなかにもかかわらず、保護者・教職員合わせて140名が参加。教職員の紹介と木部学部長による挨拶の後、総会に入りました。総会では、役員選出の結果会長に就任した大川満雄氏の進行により、平成19年度事業報告(案)・決算(案)、平成20年度事業計画(案)・予算(案)が諮られ承認されました。

総会終了後、会場を移して懇親会が開催されました。懇親会にも約100名の方が参加され、大川会長の乾杯の音頭で開会。食事と飲み物を共にしながら、現在の学生たちの大学生活や法文学部の現状など、様々な話題が飛び交い、盛況の内に終了しました。



(学部長報告に耳を傾ける出席者)

○学部長と新入生との懇談会

5月8日、学部長と新入生との懇談会が開催されました。入学間もない学生から直接大学生活に対する感想を聞き、教育活動に反映させようと今年度から新たに取り組むことになった企画です。

懇談会には、3学科から7名の新入生、教員側は木部学部長をはじめ担当教員6名が参加しました。参加者の自己紹介の後、日々の学業生活を中心に、新入生一人一人の率直な思いをそれぞれ自由に話してもらいました。当初は緊張気味であった新入生でしたが、会が進むにつれて気持ちが砕け、次第に会話も弾みました。現時点で特に大きな問題を抱える発言はなく、おおむね今の生活に満足していることがわかりましたが、休み時間が短いため次の授業への出席に支障が出たりすることなど、具体的に支障となっている事柄もわかりました。最後に今回出席した新入生から一人ずつ抱負を語ってもらい、閉会しました。



(学部長と新入生との懇談会)

○法文学部1号館改修に着手

現在鹿児島大学では、政府の「第2次国立大学等施設緊急整備5ヶ年計画」を受けて、施設の狭隘対策や耐震性能の強化のための学内施設の整備事業を行っています。昨年度までに、理学部棟、農学部棟、共通教育棟2号館等の改修工事が完了しましたが、法文学部1号館東側も今年8月から来年3月にかけて、全面改修工事が始まりました。

また、1号館東側の全面改修に伴い、2号館も部分改修し、これまで散在していた院生室を全て2号館の5階に集約し、院生相互の教育上の関わりを促進するようにしました。

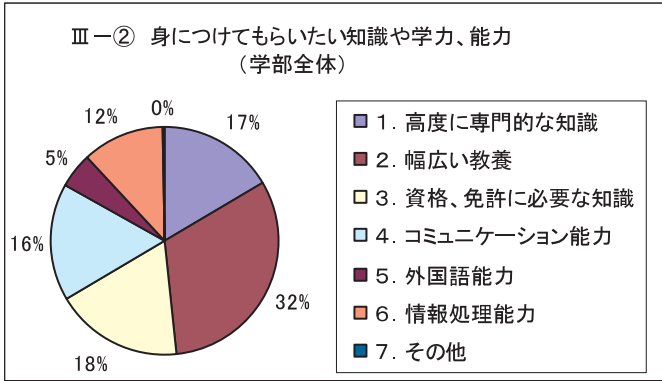
今回の改修により、講義室・演習室等の教室が整備されるのはもちろんのこと、学生さん達が待機・談笑出来る交流場所として、交流スペース(2階)やリフレッシュコーナー(3階、5階、6階)が新たに設置されます。来年度には1号館西側の改修も予定されており、平成22年度末には、1号館全体が新しくお目見えする予定となっています。



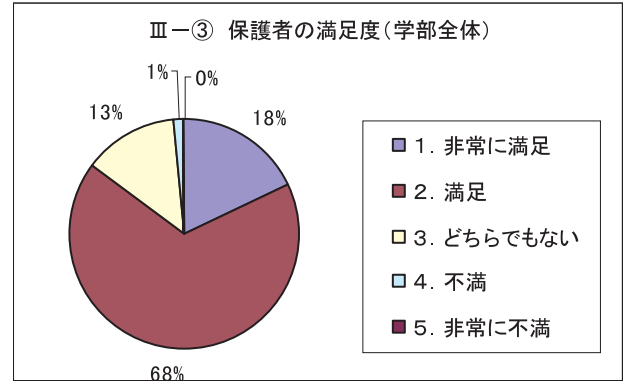
(改修中の法文学部1号館)

○保護者向けアンケートの集計結果

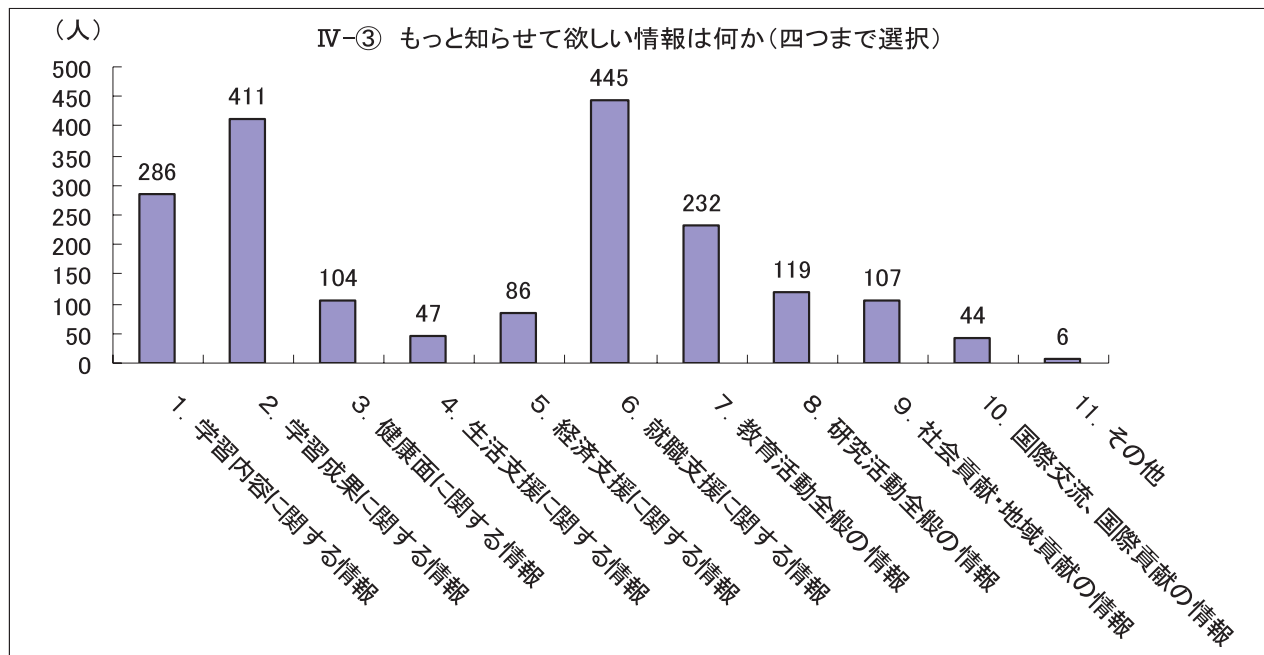
今年度は、後援会総会の案内状に同封するかたちで、保護者の皆様へのアンケートを実施いたしました。また、例年どおり、総会当日参加者の皆様へのアンケートも実施いたしました。アンケートの集計結果の一部を掲載いたします。保護者の皆様が就職支援や大学での教育内容などに強い関心を抱かれていることや、より積極的な情報提供を望まれていることなどが明らかになりました。今回の結果を少しでも今後の後援会活動に活かしていければと考えます。お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。



*幅広く総合的な知性とスキルの修得、およびそれを資格・免許という形で、実社会において活用できる人材の養成が求められていることを示しています。



*本学部の教育に「非常に満足」「満足」が合わせて80%を超えていることはありがたいことです。今後もより多くの保護者の方々に満足いただけるような教育の充実に尽力していく所存です。



*「就職支援」「学習成果」「学習内容」「教育活動全般」に関する情報が多く求められています。今後、保護者への情報提供を充実していくための貴重な資料とさせていただきます。

【平成20年度後援会役員一覧】

顧問：木部暢子

会長：大川満雄 副会長：小原幸三、山之口雅代 常任理事：揚村俊一、平井一臣

理事（保護者）：(法政策学科) 山之口雅代、青木素子、大脇優子 (経済情報学科) 伊地知裕子、磯部浩二、濱川廣巳
(人文学科) 森山裕二、大川満雄、西垂水誠、坂下浩一、長野信弘 (人文社会科学研究科) 揚村俊一、小原幸三
(司法政策研究科) 楠原正人 (臨床心理学研究科) 後藤哲朗

理事（教員）：(法政策学科) 岡部悟朗、泉 健子 (経済情報学科)：山田 誠、桑原 司

(人文学科) 竹岡健一、大和高行 (司法政策研究科) 米田憲市 (臨床心理学研究科) 安部恒久

監査：(法政策学科) 相浦 聡 (人文学科) 新留英史

監事：(事務長) 南谷 久